

令和6年度白秋献詩の入賞者を表彰

【問】市学校教育課学校給食係 ☎77・8173

文部科学大臣賞受賞作品

「七月の青い春」

福岡県立伝習館高校1年

小川 璃子



作品を朗読する小川さん

さらさら舞い上がる砂埃 細くて清くて静かな川
そこには誰もいない 誰も 誰も
かさり ささやいて 茶色い葉が風に
びゅおう 強い風につれて 葉は空を舞う
ひらひらくるくる 絶え間なく回って
真つ赤な光に 射抜かれる

光はそのまま建物をも貫く 瞬間ガラスが砕けて
キラキラ 赤く飛び散る 建物が崩れる 崩れる
地面を思いきり踏みつけ 建物はガレキと化す
赤い雨が降りそそぐ 更地になってゆく・・・
静かだった とても
温かい風が吹き 僅かな植物が揺れて
戦いの元は消え失せた
そして段々と 復興してゆく

花弁が舞い踊る 鐘の音が突く
そして誇らしく揚げられた文字

〔終戦記念日〕

楽器を口から離す 立ち上がる
眩しい光が観客とともにこちらを見据える
そしてなんとなく 分かっってしまった

たった十二分間 私たちはそれに懸けるのだ
他は何もかも切っ捨てて
すべてを十二分間につめこむ

まさに「青春」だ こんなの「青春」じゃ表しきれない
矛盾した二つの思いが 私のなかで叫ぶ
でもどうしようもなく 結果は変わらなくて
私はもうなにも言えない
そんな とても濃い七月

柳川が生んだ詩人、北原白

秋の偉業をたたえるため、市は毎年、白秋献詩を募っています。今年の応募は、全国から6450点。その中から152点が入選しました。

白秋の命日の11月2日、受賞者の表彰を兼ねた白秋祭式典を開催しました。雨天のため、会場は4年ぶりに矢留小学校体育館となりました。式典では、最高賞の文部科学大臣賞に輝いた伝習館高校1年の小川璃子さんと福岡県知事賞を受賞した大和小学校2年の田島穂香さんらが作品を朗読。その後、矢留小学校6年生が「この道」などを合唱し、最後は参加者全員で「帰去来」を歌って白秋の遺徳を偲びました。

白秋献詩の特選と特別賞、市内からの入賞者は次のとおりです（かっこ内は学校名や学年など。敬称略）。

特選・特別賞

■文部科学大臣賞 小川璃子（伝習館1）

■福岡県知事賞 田島穂香（大和小2）、大出優希（筑後中3）、古賀空音（伝習館1）

■福岡県教育委員会賞

白井涼花（豊原小3）、北原杏美（柳城中1）、石橋紺花子（久留米信愛高3）

■北原白秋生家記念財団賞

百武蒼真（藤吉小4）、柿士元（筑後中1）、大藪陽菜乃（伝習館2）

■伝習館三稜会賞

田原優里奈（広島大学附属小6）、田原圭（柳南中1）、高野裕那（中間高2）

■白秋長女岩崎篁子賞

徳永颯人（城内小4）、浦川叶多（三橋中1）、感王寺美智子（一般、朝倉市）

市内入選者

■小学生の部 ▽一席 ▽北原真季史（昭代第一4） ▽二席 ▽塩塚あさ（城内2） ▽三席 ▽高田季叶菜（矢留2）、平野志晃（藤吉4）、成清琉偉（昭代第二4）、西田悠辰（柳河4）、

知世（柳南3） ▽佳作 ▽川角基月（三橋3）、武田瑠奈（同2）、古賀大翔（大和1）、高崎瑛梨紗（柳城2）、古賀美鈴（昭代1）、大津凌花（大和3）、池末琥凱（蒲池2）、宮原結月（昭代1）、田吉湮美花（大和2）、藤丸明葵（三橋3）、堤大翔（大和3）、浜田優里（同2）
■高校生・一般の部 ▽一席 ▽江崎心優（伝習館2） ▽三席 ▽草場樹（柳川高1）、高棕彩里（伝習館2） ▽佳作 ▽松藤龍希（伝習館1）、井口穂乃花（同）、荒巻豪伯（同）、松藤歩奈（同）、永島遼（同2）、荒巻香帆（同1）、白馬三稀（柳川高2）、武田羽白（伝習館1）

柳川が文化の香りに包まれた3日間

白秋祭関連行事



夜の掘割をゆっくと進むどんこ舟

水上パレードで偉人を偲ぶ

詩聖、北原白秋の命日11月2日を挟んだ3日間、川下りコースの掘割で白秋祭水上パレードが開催されました。今年3日間で115艘のどんこ舟に3500人が乗舟しました。乗舟客は、白秋詩碑苑で朗読や合唱を鑑賞した後、どんこ舟で沖端地区を出発。終点の柳川橋へと向かう「川上り」のコース沿いには行灯やかかり火が灯された他、市民らによる囃子や琴、太鼓の演奏などで乗舟客をもてなしました。



当時と現代の風景を比較したパネル

白秋生家でイベント続々

11月1日で開館55年を迎えた北原白秋生家。市出身の音楽家古賀理紗さんを迎えたロビーコンサートや特別展、記念グッズの販売など11月から数多くの催しが始まりました。11月2日からは企画展「白秋がみた柳河～受け継がれる水の構図～」がスタート。昭和18年刊行の写真集「水の構図」に掲載された写真と、現代の風景を比較したパネルが生家内に設置され、来場者は足を止めて見入っていました。



県知事賞に輝いた田島さん（左）と古賀さん